

スラバヤ市における飲料水供給事業

(株)いしかわエンジニアリング

JICA「草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)」(2013～2015年度)

現地の水道水は一般的に飲用に適さないため、多くの住民は安全な飲用水を得るために水道水を煮沸するか、市販のパッケージ水等を購入。しかし、水道水煮沸では安全性を確保できず、また、パッケージ水購入費用は家計を圧迫している。

飲料水供給システムのビジネスモデル

商品	(1)レフィル水(持ち運び用飲料水) 安価で、高品質かつおいしい飲料水 現地水道水を処理した日本ブランドの飲料水 (2)日本の浄水技術による飲料水供給装置
顧客ターゲット	(1)レフィル水を購入しているスラバヤ市民 (2)工場、事務所、学校など
販売方法	レフィル水は地域コミュニティ(女性の会)が組織する生協(150か所)を通じて販売する
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○健康リスクの削減 ○雇用創出 ○飲料水に対する浪費の削減

環境姉妹都市

北九州市

スラバヤ市

生協局

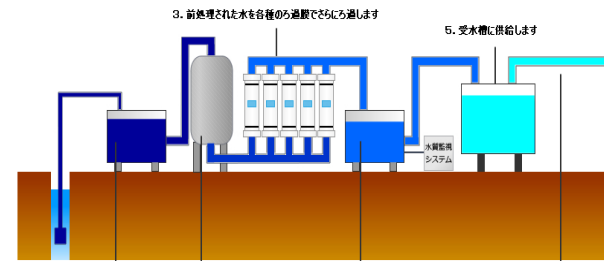
地域生活協同組合
(女性の会)

工場
事務所
学校

消費者

メリット

(株)いしかわエンジニアリング インドネシア現地法人



1. 深井戸から金上付た地下水を取水槽に貯留します
2. 前処理として通常の飲料水程度にまでろ過します
3. 前処理された水を各種のろ過膜でさらにろ過します
4. 処理水槽に貯留し、残留塩素濃度を連続的に測定記録します
5. 受水槽に供給します
システムに異常が発生した場合は、自動的に公共水道に切り替わります

